



報道関係者各位

2024年2月19日

愛知県豊明市

株式会社マーケットエンタープライズ

愛知県豊明市が不要品リユース事業で

「おいくら」と連携を開始

～新たなリユース施策導入でリユース促進へ～

愛知県豊明市(市長:小浮 正典)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2024年2月19日(月)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、豊明市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

豊明市では、リユースの啓発のほかに市の掲示板で市民同士が不要品の譲渡をできる場を提供するなど、リユース推進を図る取組を行なっております。しかしながら、こうした取組の利用は、限られた人に留まっており、最近では掲示板のスペースが不足するなどといった課題も生じておりました。こうした背景から、市では、市民同士の個人間取引に代わる新たなリユース施策の導入の可能性を模索しておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中で、豊明市がマーケットエンタープライズに働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2023 年 10 月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■豊明市の課題と「おいくら」による解決策

豊明市では、粗大ごみの戸別収集を行なっておりますが、大型や重量のあるものでも、原則、自力で不要品を玄関先や自宅の外へ運び出す必要があります。そのため、これまで市民からは、「家の中から運び出すことが難しい」などといった声が寄せられておりました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、まだ利用できるものであれば、市では回収を行っていない冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も対象で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、豊明市の費用負担もありません。

■今後について

2 月 19 日(月)11 時(公開時間が前後する可能性があります)より、豊明市ホームページ内(<https://www.city.toyoake.lg.jp/17049.htm>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。豊明市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■愛知県豊明市

豊明市は、愛知県の中央よりやや西部に位置しており、名古屋市南部に隣接しています。市内には「桶狭間古戦場伝説地」や、名勝地「二村山」、鎌倉街道などの史跡の他、「JRA 中京競馬場」など、訪れる人を楽しませてくれる歴史や施設があります。春には戦国武将の霊を慰める「桶狭間古戦場まつり」、秋には県指定無形民俗文化財「大脇の梯子獅子」や、市指定無形民俗文化財「上高根の棒の手」、火縄銃の発砲音が轟く「警固まつり」が開催され、豊明の風物詩として親しまれています。市域南部には、国道 1 号・23 号を始め伊勢湾岸自動車道が横断しており、関東圏や関西圏へのアクセスも優れています。豊明市は、緑豊かで快適な居住環境と交通の利便性を備えた名古屋都市圏の都市として、刻々と移り変わる時代の流れに的確に対応し、更なる発展を目指しています。

人口:68,038 人(男 34,533 人、女 33,505 人) (2024 年 1 月 1 日)

世帯数:30,911 世帯(2024 年 1 月 1 日)

面積:23.22 平方キロメートル

ウェブサイト:<https://www.city.toyoake.lg.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ710万人を達成しました。豊明市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で101にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

豊明市に関すること

豊明市 経済建設部 環境課 ごみ減量推進係

担当：井口

Tel:0562-92-1113 Mail:kankyo@city.toyoake.lg.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当：立花

Tel:03-6675-3923 Mail:pr@marketenterprise.co.jp